



各位

会社名 株式会社アルファクス・フード・システム
代表者名 代表取締役社長 藤井由実子
(コード番号：3814 東証グロース)
問合わせ先 常務執行役員 菊本健司
電話番号 0836-39-5151
U R L <https://www.afs.co.jp/>

債務超過解消に向けた計画について

当社は、2022年11月14日に公表いたしました「2022年9月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載のとおり、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響を受け、純資産の額が正でない状態(債務超過)となっております。

なお、2022年9月期の債務超過は、新型コロナウイルス感染症の影響に起因するものであるため、上場維持基準(純資産)に係る改善期間が、1年から2年に延長される見込みです。当該措置については、12月下旬に提出する有価証券報告書の内容を株式会社東京証券取引所が確認した上で、正式に決定される予定です。

債務超過解消に向けた取り組みについて、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 債務超過の原因について

当社は、「食文化の発展に情報システムで貢献する」を社是として掲げ、35年間外食企業向けの様々なITシステムを展開しております。2020年からの新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、当社の主要顧客である外食企業におきましては、複数回にわたる緊急事態宣言、営業時間の短縮要請等に従って休業、営業時間短縮や酒類の提供制限等の影響を受け、助成金や協力金等があったものの、厳しい経営状況が続いております。

そのような状況下、当社はコロナ禍であっても影響の少ない分野の進出・拡販を方針に掲げ、順調に開拓しておりました。また、コロナ禍でも引き合いが多く、受注も決定していたテイクアウト自動精算機「テイクショット」(2021年9月期より発売)などの周辺機器として利用する各種メーカー製品にもソフト対応を行い準備しておりました。

しかしながら、自動精算機ユニット(つり銭機)だけでなく、当社主力「FOODα4000」POSシステム機器までも機器仕様の変更や半導体不足による当社への製品未納状態が2022年4月末より突如として発生し、継続したことにより、店舗システム機器の一切の納品がストップする事態となり、2022年9月期第3四半期以降に大型納入を予定しておりました「テイクショット」を含む、POSシステム機器の顧客への納品が2022年9月期中にできなくなったため、当該製品の売上計上が遅れる結果となりました。さらに、コロナ禍においても受注が好調な、配膳・除菌AIロボットの発注及び納品についても同様に、上海のロックダウンによる、ハードウェア仕様変更と輸送の大幅な遅れ、半導体不足などの影響もあり、当該ロボット製品販売の在庫確保が進まず、売上計上が大幅に遅れたことにより、売上高が、大幅に予想を下回る見込みとなりました。

これらの売上減少とコロナ禍による月額収入の値引きや円安による仕入原価の高騰、在庫評価減として192百万円を計上したことにより、減収減益となりました。

2022年9月期の業績は、売上高1,336百万円(前年同期比15.0%減少)、営業損失は456百万円(前年同期は営業損失178百万円)、経常損失は494万円(前年同期は経常損失264百万円)、当期純損失は539百万円(前年同期は当期純損失272百万円)となり、361百万円の債務超過となっております。

2. 債務超過の解消に向けた基本方針について

当社は、「3. 取り組みの内容およびスケジュールについて」の記載の通り、事業面及び財務面での安定化を図り、持続的な収支の改善を図るとともに、資本増強に向けた施策を推進し、当該状況の解消・改善に努めてまいります。

3. 取り組みの内容およびスケジュールについて

① 業績改善への対応

今後も新型コロナウイルス感染症の継続やウクライナ危機等に伴う資源価格上昇を背景とするコスト環境の悪化が調達・生産への影響として想定されますが、システム機器においては、多機種多メーカーへの切り替え提供できる体制を整え、2023年9月期におきましては、遅延なく当社顧客への納品に尽力してまいります。

2022年度9月期の売上減に多大な影響を与えた主力システム機器のPOSシステム「FOODα4000」については、11月に当社への納品が断続的に始まる予定ですが、現在ご注文をいただいている台数より当社への納品台数が下回っているため、今後の更なる有事の対応を考慮し、どこからでも調達出来るWindowsPCでもPOSシステム「FOODα4000」と同等の機能を備えられるようソフトウェア対応をした、「FOODα4100」（2022年10月19日リリース）を開発しました。このことにより、今後は安定的に店舗システム機器を納品してまいります。

また、コロナ禍においても売上／粗利が確保できる、配膳・除菌AIロボットや除菌ゲート（ウィルスゲート・ショット）につきましては、2022年8月より納品がされており回復基調にあり、外食業界以外の工場やドラッグストア、学習塾チェーンなどからの受注・引き合いが伸びていることから、外食業界以外への販路拡大に邁進してまいります。

今後も製品の調達方法・生産体制の見直しなどによる製品確保の改善をより一層強化することで、収益力の増加に努めてまいります。

② 財務体質の改善

保有資産の土地建物の売却を進めております。併せて第三者割当増資の実施と収益改善により、解消していく所存でございます。

以上の資本増強策および事業計画の施策遂行による収益改善により、2023年9月期末での債務超過解消を目指しております。

今後におきましては、事業年度末日で債務超過の解消が確認されるまでの間、四半期ごとに当該取り組みに関する報告を実施させていただきます。

以 上